

国際ロータリー第2550地区【栃木】2022-2023年度

ガバナー月信

ガバナーからの
メッセージ動画は
youtubeで
視聴できます。

YouTube

GOVERNOR'S
message

R.I.D 2550 tochigi

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

vol.9
2023.03

contents

アイコンをクリックでそのページにとびます。



イマジン
ロータリー

01

02

Governor's
message

ガバナーメッセージ



03

強化月間委員長寄稿

RI2550 地区 ローターアクト委員会

松山 栄 委員長

『世界ローターアクト週間に寄せて』



04

行事実施報告

05

主要行事予定

06

会員数報告

07 新入・物故会員

08 コーディネーター NEWS・ハイライトよねやま

クラブ奉仕事業報告

蔵の街とちぎローターアクトクラブ 奉仕活動報告

宇都宮陽東ロータリークラブ 国際奉仕活動報告

09

10

Governor's
gallery

ガバナーギャラリー



My ROTARY - Rotary International



イマジン
ロータリー

01



イマジン ロータリー

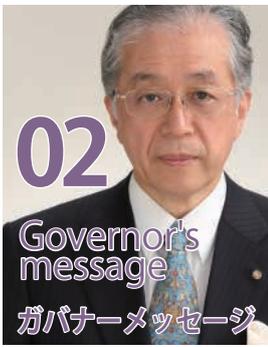
2022-23 年テーマ『イマジンロータリー』

ジェニファー・ジョーンズ会長は、会員が夢を実現するために行動し、クラブの魅力を最大限に味わえる場としてのロータリーを思い描き、互いのつながりを深めることによって世界に変化をもたらすパートナーシップを築くよう会員に呼びかけています。

4つの テスト

<言行はこれに照らしてから>

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるかどうか



ガバナーメッセージ

さ ん ぎ な お み ち
佐貫 直 通

Governor's Message

国際ロータリー第 2550 地区 2022-23 年度ガバナー
宇都宮陽東ロータリークラブ

ZOOM 対談

2023.02.17



蔵の街とちぎローターアクトクラブ
(提唱クラブ：第6グループ5クラブ)

会 長

せきや とおる

関 谷 暢

(会社員・株式会社北研 勤務)

「絵本再生プロジェクト」に取り組み、
社会人5名で活動。



宇都宮東ローターアクトクラブ
(提唱クラブ：宇都宮東ロータリークラブ)

会 長

もり あい ひ で か つ

盛 合 一 功

(宇都宮大学大学院2年)

空き家改修による地域づくり
「TAKIYA プロジェクト」に取り組み
学生5名・社会人2名の7名で活動。



作新学院大学ローターアクトクラブ
(提唱クラブ：宇都宮東ロータリークラブ)

会 長

ち ば な お や

千 葉 奈 央 也

(作新大学経営学部経営学科2年)

学生ならではの活動に取り組み
作新学院大学の学生22名で活動。

今回は、ガバナーメッセージ特別企画として、国際ロータリー第 2550 地区のローターアクトクラブ・3クラブの会長の皆様と佐貫ガバナーに Zoom で意見交換をしていただきました。

佐貫ガバナー（以下佐貫G）／国際ロータリー第 2550 地区の皆様、こんにちは。

今月のガバナーメッセージは、当地区のローターアクトクラブ会長の皆様と一緒にお届けします。3月13日は「世界ローターアクトの日」です。1968年3月13日、世界初のローターアクトクラブがアメリカで誕生して今年で55年になります。これにちなみ、3月13日を含む1週間は「世界ローターアクト週間」に指定されています。ぜひ、一緒にローターアクトクラブについての認識を深めていきましょう。

蔵の街とちぎローターアクトクラブ（以下RAC）・関谷会長（以下・関谷）／

蔵の街とちぎ RAC・会長の関谷暢（せきや・とおる）と申します。私は栃木県壬生町にある株式会社北研という会社の、食用菌類研究所というところで研究員として日々の業務を行っています。業務内容は、キノコの品種改良、新品種を作る仕事をしています。キノコの種類としては、シイタケ・エノキタケ・ブナシメジ・マイタケ・ヒラタケなどの品種改良を行っています。出身は栃木県宇都宮市で、宇都宮大学農学部・応用昆虫学研究室を卒業しました。年齢は30歳、今年31歳になります。家族構成は妻と18か月の息子がおります。

ガバナーからの
メッセージ動画は
youtube で
視聴できます。



宇都宮東ローターアクトクラブ（以下 RAC）・盛合会長（以下・盛合）／

初めまして。盛合一功（もりあい・ひでかつ）と申します。私は今、宇都宮大学大学院の2年生で、4月から新社会人として働きます。出身は岩手県宮古市で、東日本大震災をきっかけにロータークラブと関わりをもち、今は宇都宮東 RAC で活動しております。私の趣味は銭湯やサウナに行くことです。本日はよろしくお願ひします。

作新学院大学ローターアクトクラブ（以下 RAC）・千葉会長（以下・千葉）／

作新学院大学 RAC ・会長の千葉奈央也（ちば・なおや）と申します。作新学院大学経営学部経営学科2年生です。主に経営学について学習していますが、資格取得に向けて精進しております。年齢は、先月成人式を迎えて 20 歳になりました。出身は栃木県宇都宮市で宇都宮商業高校を卒業しました。本日は貴重なお話ができることを楽しみにしております。よろしくお願ひいたします。

佐貫 G／それではまず、各クラブのプロフィール、成り立ち、現在の活動内容、特色などを教えてください。では、蔵の街とちぎ RAC ・関谷会長からお願ひいたします。



Sekiya Toru

関谷／我々、蔵の街とちぎ RAC は、栃木県内 3 ローターアクトクラブの中で一番新しいクラブです。ほかの 2 クラブは大学生基盤ですが、我々は**社会人基盤**となっています。提唱ロータークラブ5クラブ・第6グループでグループ提唱という珍しいローターアクトクラブです。会長は私・関谷暢、幹事は大木溪一郎さんです。来期も継続して会長・幹事をつとめます。会員数は 5 名、2 名減ってしまいましたが 2 名新たに入っていたいで **5 名** で活動を継続しています。クラブの特徴としては、地に足をつけた地域社会に貢献するクラブということで、まずは地域社会に貢献するような活動を行っていかうということが目標です。

佐貫 G／ありがとうございました。第6グループの各ロータークラブの方々にご支援いただいているローターアクトクラブという記憶があります。ぜひ頑張ってください。

次に、宇都宮東 RAC ・盛合会長、お願ひいたします。

盛合／私たちのクラブは**地域社会基盤**ということで、宇都宮東ロータークラブさん提唱の元で活動を行っています。来年度は遠山拓海が会長をつとめます。私たちのクラブは、宇都宮大学の学生が 5 人、社会人 2 名の **7 名** で活動しています。今年の活動目標は、「アクトを象徴する活動を作る」ということで、**空き家を用いた地域づくり**に挑戦してきました。簡潔に活動の様子をお伝えします。

私たちは地域に根を張り拡大すると考えて、社会課題 × 身近な場所というところで、（大学がある）峰地域の空き家に着目しました。空き家は老朽化や放火による火災という課題があり、また私たちが対象とする峰地域は行き止まりが多い開発が進められているという課題があります。そこで、「**TAKIYA プロジェクト**」という空き家を改修した地域づくり・街づくりに取り組んできました。詳細はのちほどご紹介いたします。



Moriai Hidekatsu

佐貫 G／ありがとうございました。宇都宮東ロータークラブが長年サポートしているクラブと認識しています。素晴らしい活動なので、ぜひ続けてお願ひいたします。ありがとうございました。

続いて、作新学院大学 RAC ・千葉会長、お願ひいたします。

千葉／作新学院大学 RAC は、会長を千葉奈央也、幹事を大森がつとめています。次年度は会長が大森、幹事を1年の大津がつとめることになりました。提唱クラブの宇都宮東ロータリークラブの下で活動しています。会員数は**22名**、ほかの2クラブに比べて会員数が多いのが特徴です。**大学基盤**のクラブであるため、学生にしかできないことに取り組んでいこうというコンセプトのもと、活動に取り組んでいます。会員数が多く全員が学生なので、会員がやりたい活動にできるだけ多く取り組もうと例会を通して努力を続けています。



佐貫G／ありがとうございました。作新学院大学 RAC は、顧問の杉本先生がご尽力くださり、また留学生もここに入って活動していると聞いています。県内で一番大きなローターアクトクラブなので、ますます活発になるとうれしいです。

【Q1. ローターアクトクラブの認知度アップについて】

さらに、ロータリー会員にも一般の方々にも、**ローターアクトクラブをもっと知ってもらい理解してもらう**ために、今後どのような活動を考えているか、お聞きします。
作新学院大学 RAC・千葉会長、いかがでしょうか？

千葉／規模を問わず、**多くの活動に取り組むことで多くの人に顔を覚えてもらうことが大切**だと思います。例を挙げると、ボランティア募集の広告をインターネットで見かけたら、例会で会員に持ち掛け、参加を促して活動に参加する。この数をこなすことで、一般の方にもローターアクトクラブを理解してもらえるのではないかと考えています。また、積極的に活動を行うことで、ロータリアンの関心も高まっていくのではないかと考えています。

佐貫G／コロナ禍でなかなか思うような活動ができなかったとも聞いています。これから奉仕活動や、自分たちのクラブの活性化ができる時期に来ているので頑張してほしいです。
宇都宮東 RAC・盛合会長はいかがでしょうか？

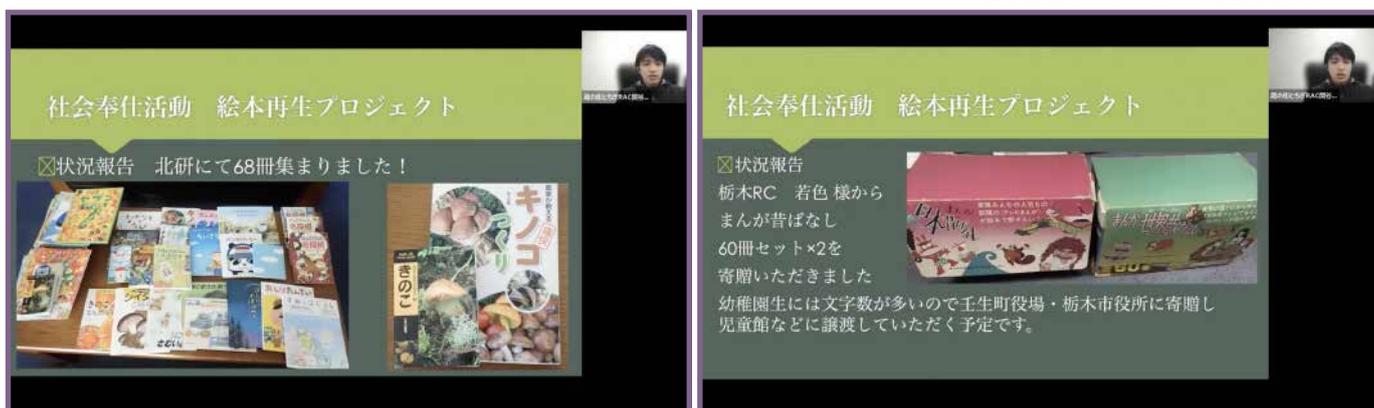
盛合／私は認知度アップには2つが必要だと思っています。**1つは組織づくり、もう1つはクラブを象徴する活動づくり**です。組織作りはまだ至らない点がありますが、活動づくりは空き家を通じた活動の軸ができています。これを中心に形を作っていくって、プラスアルファ組織も作っていただけると考えています。

佐貫G／宇都宮東ロータリークラブが力を入れてサポートしていて、空き家については私がガバナーエレクトの時に話を聞いて、素晴らしい活動がここに生まれているなと感じました。ぜひ進めていって、ロータリーを一般の方々に知っていただくいい機会だと思います。
蔵の街とちぎ RAC・関谷会長はいかがでしょうか？

関谷／奉仕活動+ローターアクトクラブ認知度アップについて、本年1月から新しい奉仕活動を始動しました。「**絵本再生プロジェクト**」として、会員の所属会社で不要になった絵本や図鑑を回収し、栃木市内・壬生町内の幼稚園や保育園、児童館などに譲渡することで**地域社会奉仕プラス広報活動**として実施しました。背景としては SDGs、いらなくなった絵本をリユースすることで SDGs につなげる、また地域社会奉仕の活動として始めました。内容としては、いらなくなった絵本や図鑑を回収し、譲渡先を選定して、広報活動の一環として活動を行っているため、本に「蔵の街とちぎ RAC」と記載されたシールを添付します。そして除菌をして譲渡します。譲渡先には、中古の絵本だけではなく、我々の活動資金の中から新品の絵本も購入してお渡ししています。譲渡先は、栃木市のひらかわ幼稚園、こ

こは息子が通っている認定こども園で、アポイントが取りやすかったので1番目の譲渡先としました。続いて壬生町役場に問い合わせをして、「こども未来課」というところが壬生町の児童館などを取り扱う部署なのでここに譲渡予定です。そして栃木市役所は、「子育て支援課」に現在問い合わせ中で、2月中に返答をいただける予定です。新品絵本の予算立ては、ロータリアンが運営する施設の場合は3,000円程度、ロータリアン以外が運営する施設の場合は10,000円以内の絵本を購入して、ローターアクトの広報活動も踏まえて、ロータリーが関わっていない施設には新品の絵本を多めにお渡しし、活動を知ってもらおうと思い運営しています。状況報告としては、株式会社北研には68冊の不要となった絵本や図鑑が集まりました。私の会社はキノコの会社なので、その中にはキノコに関する本も集まりました。絵本の背表紙や持ち主の名前が書かれた部分にシールを貼って譲渡することで、「蔵の街とちぎ RAC」を認知してもらえる広報活動としても絵本再生プロジェクトが運営されています。

絵本再生プロジェクト 蔵の街とちぎ RAC



また、栃木ロータリークラブ・若色様より「まんが昔ばなし」60冊を2セット=120冊を寄贈していただきました。幼稚園生には文字数が多いので、壬生町役場・栃木市役所に寄贈し、児童館などに譲渡していただく予定です。児童館は12歳までの子どもが使える場所なので、絵本・マンガが適していると思い、こちらを寄贈予定です。昨日、ひらかわ幼稚園に新品絵本6冊・中古絵本15冊を譲渡してきました。そこで副園長と話をさせていただき、蔵の街とちぎ RACの活動を広報していただけるよう、月1回発行している「幼稚園だより」3月号に記載していただくことになっています。

佐貫 G／ありがとうございます。地域に密着したボランティア活動・奉仕活動であり、お金をかけるだけでなく「もったいない」という理念で絵本を有効利用するという若い方々の、力がある発想だと思います。地域に密着した素晴らしい活動が、継続的になるよう頑張ってください。

それぞれのクラブからのお話、今後についての各ローターアクトクラブの考え方がよくわかりました。ありがとうございます。続いて、もうひとつお聞きしたいと思います。

【Q2. ロータリー『水と衛生』月間について】

今月はロータリーの「水と衛生」月間です。「水と衛生」について、国内・国外問わず自分たちにできること、今後ロータリーで取り組んではどうかと思うことなど、体験なども交えてご意見をいただきたいと思います。

関谷／私は23～24歳の時期に、大学卒業後1年半ほど経ったころ、新卒で入社した会社を辞めて10か月ほどバックパッカーをしていました。東南アジア諸国やインドなど、10か国を巡りました。その間、水は必ずペットボトルを購入して飲んでおり、歯を磨くのも水道水は使わずに生活していました。なぜかというと、日本のように水道水がきれいではない、水道水を飲むと体調を崩すと言われているからです。その時、**日本って素晴らしい国なんだと実感**しました。トイレもきれいだし公園の水道水も飲める、こんな国はなかなかないと実感しました。このような実体験を小学校などで講話する機会があれば、水資源の大切さや、日本で当たり前のことが当たり前ではない国がある、と

いう現状を講話の一部に盛り込んでお話をすることができるのではないかと考えています。実際に、私は壬生町の南犬飼中学校で講話する機会が2度ほどありました。今回「水と衛生」について考える機会をいただき、また学校で講話をする機会があれば、話の中にこのような内容を盛り込んで、**水資源の大切さを小・中学生に知らせる**ことがロータリーアクトクラブの活動としてできるのではないかと思います。

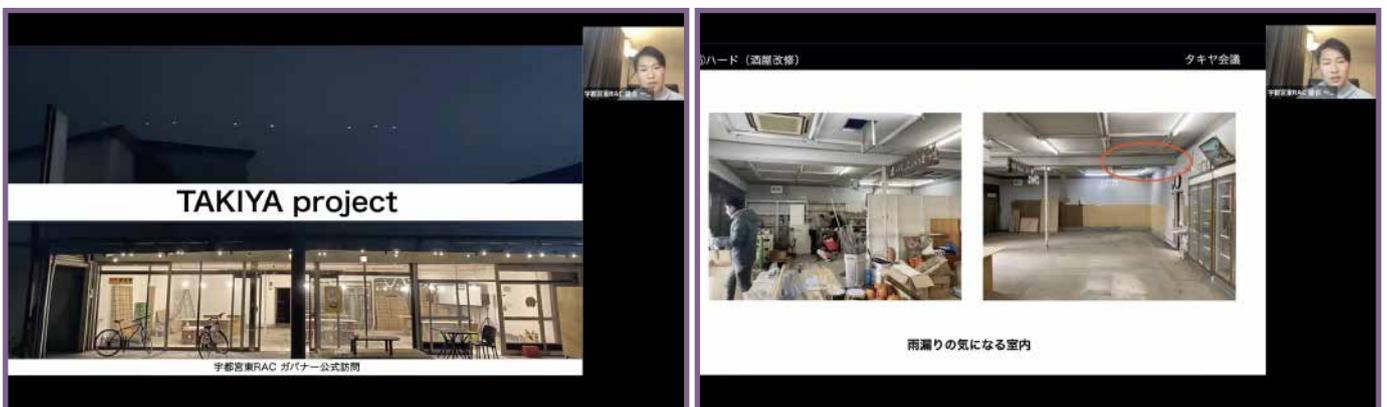
佐貫G／確かに、我々は日本に住んでいると水はきれいでいつでも飲めることが当たり前ですが、海外ではその考えでは生活できない、それを子供たちが理解することは大切だと思いますので、どうぞ活動をお願いいたします。続いて千葉会長、いかがでしょうか？

千葉／最初に思い浮かんだのは「**節水**」です。私たちが身近ですぐにできることだと思います。ロータリーアクトクラブとしてできることは「**大学内で節水を促すこと**」だと思います。大学内の掲示板に節水を呼び掛ける掲示をする、学園祭で節水のコーナーを設けるなど、大学基盤のクラブなので大学内で呼びかけることが可能だと考えます。今後、機会があればこのような活動をしていきたいと考えるきっかけになりました。

佐貫G／水の大切さ、それが節水につながると思います。毎日ふんだんに水を使っている我々にとって、どこかで水を大切にしている気持ちが抜けていることも多いかと思えます。特に、日本では震災・地震などで水が出なくなり現場が困ることも多いです。皆さんに、特に小さな子どもたちに水の大切さを伝えることは大事なことです。記憶に残ることによって大きくなった時に必ず役に立つと思えます。どうぞ活動を進めてください。では、盛合会長をお願いします。

盛合／私は**空き家の観点から考察**しました。空き家を改修するときに「**雨漏り**」が「水と衛生」に関係していると感じました。現在はこのような内装で表層的には雨漏りはしていないような状況ですが、雨漏りによって水が滴ってくるような中で生活をするという意味で、**衛生的な問題**も今後ロータリークラブやロータリーアクトクラブとして取り組んでいけるのではないかと考える機会になりました。

TAKIYA project 宇都宮東 RAC



佐貫G／「水」というと、我々は飲料水のことを考えてしまいがちですが、**雨漏りや水害・洪水など細菌による汚染**もあるので、これも知ってもらうことが大切だと思います。2019年には栃木県でも大きな水害がありました。そのあとには感染の問題があり、十分気をつけていただきたいと思います。誰かがどこかで知らせていかないと、いざというときに忘れてしまって、それが大きな感染につながってしまうこともあります。これは本当に奉仕・ボランティアの仕事になる、大切な点です。

最後に、ご意見やご質問がありましたら伺いたいと思います。いかがでしょうか？

千葉／ひとつ質問いたします。作新学院大学 RAC として、宇都宮東 RAC や蔵の街とちぎ RAC のようにクラブならで

はの（クラブを象徴するような）大きな活動が存在しておらず、他クラブの大きな活動に憧れをもっています。大きな活動をクラブ内に持ちかけるために、どのようなことを心がければいいのか教えていただければ幸いです。

佐貫G／個人的な意見ですが、奉仕活動に関してはまずはローターアクトクラブのメンバーとの話し合いが大切だと思います。クラブによっては、やりたくてもできない・思いつかないなど、いろいろな点があるので、皆さんと意見を出し合い活動内容を決める、話し合いの中から自分たちにできる活動が必ず出てくると思います。問題点があればみなさんで出し合ってそれについて話し合う。学生さんたちの場合、特に作新学院大学では、このコロナ禍で活動がままならず、外での活動が十分にできない時期が続いたと聞いています。できることとできないことがあると思うので、「大きい活動」というよりも、「**自分たちにできる活動**」を皆さんで話し合っ、ひとつひとつ組み立てていっていかげでしょうか？それを積み重ねることによって大きなプロジェクトが出てくると思います。ぜひ積み重ねていってください。

千葉／貴重なご意見ありがとうございます。やはり、私も今まで大きな活動をしたことがなかったので、宇都宮東 RAC の空き家活動など、いいなあと思っていました。今できることを少しずつ話し合っ取り組んでいくことが大切だと、それがいずれ大きな活動につながると思います。

佐貫G／ひとつ提案ですが、（宇都宮東 RAC の）空き家活動に作新学院大学 RAC のメンバーが参加することも可能だと思います。自分たちでできないところを、宇都宮東 RAC のみなさんと力を合わせるということもひとつの活動になると思います。お互いのクラブ同士で連絡を取りながら、組み立てていただきたいと思います。特にメインになるローターアクトクラブにお話をしながら、できることとできないこともあると思うので、特にマンパワーが必要な時など一緒に進めていければ活発な活動になると思います。盛合さん、今のお話、いかがでしょうか？

盛合／協力体制についてですが、実は来年度・4 月以降に「**寺子屋**」を始めようと思っています。そこで授業をする人たちを探しています。経営の視点だったり、千葉さんはまだ 20 歳になったばかりですがそのような若者ならではの視点とか、社会に対する思いなどを**子供たちや地域の大人と共有する機会**を作ってくれたら、地域自体も盛り上がると思うし、作新学院大学 RAC としても充実した活動ができるのではないかと期待をしながら聞いていました。

佐貫G／ほかに、ご質問はありますか？

盛合／ロータリアン代表であるガバナーにお伺いします。（ロータリアンの）みなさんは経営をされていて、ものすごくお忙しいと思います。ガバナーも私の想像を絶する多忙なスケジュールだと思います。その中で、余裕であったり社会課題に向き合ったりする根本にある情熱は、どのようにもたれているのでしょうか？

佐貫G／ガバナーとしての情熱というよりは…（笑）。生活の中で、医療関係・歯科医ですので毎日が職業奉仕だと思っています。自分の仕事をきちんと医療理念・倫理・哲学を持って取り組んでいけば、それが必ずどこかにロータリーとつながるところがあるし、仕事の中でロータリーとのつながり…それがあってガバナーを仰せつかったと思います。多忙は多忙ですが、みなさん組織の長や委員などになったり、自身の事業所の組合などの役職をなさったりしている方も多いと思います。その合間での活動になると思いますが、頭の中で整理しながらやっていくことだと思います。仕事をしながらロータリーのことを考えることもあります。合間を見ながらやっているのが現状です。ただやはりガバナー職になってくると、自分の仕事をある程度抑えながら、取り組まなければならないのも事実です。



患者様に理解を求めて、(診察の)日にちをずらしてもらうなどお話をしながらやらせていただいています。すべて100%とはいかないのが現実ですが、合格点をいただける範囲内で自分としては頑張ってきているつもりです。ロータリー活動は100%できていないのも事実ですが、その点は自分をサポートしてくれているメンバーが一生懸命やってくれていることも認識しています。自分を支えてくれるサポーターに頭が下がる思いです。(ひとりで頑張るのではなく)みんなでロータリーをやろう、みんなで力を合わせて汗かき奉仕をやろうと進めています。ロータリーの考え方も、浄財=お金をたくさん出しているロータリアンもいますし、汗をかいて力を出しているロータリアンもあります。ロータリーの多様性、それもここに出てくると思います。皆さんの力でロータリーは成り立っていると思います。出しているお金は、汗をかいて収入を得たお金ですから、お金を出すことも汗かき奉仕だと感じています。みんなそこにつながっていくので、みなさん確かに忙しいと思いますが、健康に留意しながらみんなでロータリーを作り上げることが大切だと思っています。

盛合／私も4月以降は社会人として、環境が変わったところで生きていくことになると思うので、今いただいたお言葉を参考に頑張っていきたいと思います。ありがとうございます。

佐貫G／関谷会長はいかがですか？

関谷／先日、壬生ロータリークラブに卓話でお邪魔し、また2月5日には第6グループのインターシティミーティングにも参加させていただきました。その中で、ロータリアンの方がローターアクトクラブのことを「ロータリーアクトクラブ」と言われたり、私は社会人で北研という会社に勤めていますが、私の会社の前の社長・川嶋が壬生ロータリークラブに所属しており、私のことを北研の次期社長だと思われたり、川嶋さんの親族だと思われていたりなど、ローターアクトクラブが学生や一社会人が所属しているものだと認識していない方がいらっしゃるのが現状なのだかと痛感しました。今、ローターアクトクラブの活動を地域社会に伝播していこう、広報していこうとしていますが、そもそもロータリアンの方にローターアクトクラブというものをまだまだ認知されていないんだなということもあり、今後は**ローターアクトクラブをもっとロータリアンの方々にも知っていただきたい**なと思っております。

佐貫G／ローターアクトクラブは55年続いてきて、2019年、規定審議会でローターアクトクラブ・ローターアクターの位置づけが一般のロータリアンと同じと決定しています。ここ数年の間で、その情報が行き渡っていないのも事実だと感じます。今回、3名の会長さんたちに出させていただいて、このガバナー月信を使いながらローターアクター・ローターアクトクラブについて少しでもご理解いただけるようにこれを企画しました。最後になりますが、ローターアクト委員会の松山委員長が、ロータリーの大変革となるローターアクトについてたいへんご尽力・ご苦労いただいていることを痛感しています。ロータリアンとローターアクターがロータリーを理解して、ローターアクトクラブがロータリークラブとして自立できるようにご支援いただきたいと思っています。松山委員長もご覧になっているかと思いますが、感謝申し上げたいと思います。また、このローターアクトの問題は当2550地区だけの問題ではなく、日本全体34地区のガバナーがおりますが、その方々もみなさん仰っています。ローターアクトに対する進め方が難しい、どうしたらよいかと迷いながら悩みながら進んでいるところです。栃木県においては、ローターアクターの方々が参加できるよう、いろいろと取り組んでおりますので、他地区から見ると進んでいる・理解が深まってきている地区だと思えます。ただそれで終わりにならないよう、次の年度に引き継いでいかなければならない点が多いかと思えます。これに関しても、次期ガバナーである三井ガバナーエレクトにもお話を進めておりますので、継続性があると考えております。ご理解いただきながら途中で挫折することなく、まだまだ壁が出てくるかと思っておりますので、みんなで力を合わせて乗り越えていきたいと思えます。ぜひご尽力を賜りたいと思えます。松山委員長のお名前を出しましたが、本当にここ数年においてご苦労を重ねさせてしまっています。大きく変わってきていますので、ローターアクターの方々にも説明が必要ですし、規定審議会の変革も出てくるかと思えます。**「My Rotary」**を見ると正しい知識が伝わると思っておりますので、ぜひ活用してください。みなさま、本日はありがとうございました。これからもロータリークラブとローターアクトクラブが交流をはかり、理解を深めていきます。よろしく願いいたします。お疲れさまでした。

03



世界ローターアクト
週間寄稿

強化月間委員長寄稿

『世界ローターアクト週間に寄せて』

まつやまさかえ

松山 栄

RI2550 地区 地区ローターアクト委員長 (宇都宮東 RC)

ローターアクトの誕生は、青少年の奉仕プログラムであったインターアクトプログラムの成功を受け、1960年代の中頃 アメリカ・ノースカロライナ州・シャーロット・ノース・ロータークラブの会員が、地元大学の学生にローターアクトクラブのスポンサーとなるチャンスを見出し 1968 年 3 月 13 日、初のローターアクトクラブがノースカロライナ大学チャペルヒル校に設立されました。

また、世界ローターアクト週間とは、ローターアクト誕生 25 周年を記念し 1993 年 3 月から導入され、3 月 13 日を「世界ローターアクトの日」とし、3 月 13 日を含む 1 週間を「世界ローターアクト週間」と指定し、ローターアクトへの理解と協力と援助を推進する機会としました。「ローターアクト」という表現は、「ロータリー」と「アクション」を合わせたもので、ローターアクトクラブでは、会員自らが組織を運営し、資金を管理し地域社会にとって重要な活動や奉仕プロジェクトを企画・実施します。ローターアクトクラブを提唱するロータークラブは、「奉仕のパートナー」として協力しながらローターアクトクラブの指導と支援を行います。

私たち 2550 地区は関東地域で最小の 3 クラブ約 40 名の会員しかいません。地域社会基盤のローターアクトクラブが 2 クラブと大学基盤のローターアクトクラブが 1 クラブです。2019 年の規定審議会でローターアクトクラブが国際ロータリーの加盟クラブとなった今、ローターアクトへの関心をもう少し高めていただき、ローターアクトとの交流の機会を増やしてみてください。提唱クラブの皆さまには日ごろのご支援に深く感謝するとともに、今後も引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。また、提唱クラブだけではなく、ロータークラブの皆様には会員減少が続くなかの増強対策の一環として、ローターアクトクラブの新設をご検討していただきローターアクト活動に興味の幅を広げていただきたく思います。

ご理解、ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。





2/4 (SAT)

行事实施報告

第9グループ IM 報告

ガバナー補佐 吉澤浅一 ホストクラブ葛生ロータリークラブ
佐野市葛生あくとプラザ

佐野市内の佐野RC・田沼RC・佐野東RC・葛生RC 4クラブが活動報告をすることで、活動の見直しや知識を取入れる機会として毎年持ち回りで実施し親睦を深めています。

ここ3年新型コロナ感染拡大で中止されていたが、今回久しぶりの対面で三井ガバナーエレクトをお招きしての大会開催となりました。4クラブ会長の活動報告・青藍泰斗IAC・佐野日大さくらIACの会長による活動報告、米山記念奨学生・青少年交換学生の自己紹介と例年通りの会議を進めました。今回はコロナ禍での飲食を控え思い切って懇親会ではなく、記念講演という学びの時間を選択いたしました。RI会長ジェニファーE・ジョーンズ氏は「多様性はロータリーの長年にわたる中核的価値観のひとつであり、最大の強みです」と指摘しています。そこでホストクラブ葛生は協議を重ね、国際的にも遅れているといわれる性的少数者の権利を勉強すべく、LGBTQ+ 当事者の生の声を聴くことにチャレンジしました。女装パフォーマーブルボンヌさんを講師に招き1時間の講演を企画いたしました。ブルボンヌさんの第一声は「オネエ」とは何でしょうか？でした。その次は驚きの数字「8.9%」です。読者の皆さんは何を示す統計数字だと思いますか？



そして彼女(?)の最後の言葉は「自分の決断に自信を持ち、自分を愛する人になる。」でした。反省会では主催の永井会長は「LGBTQ+ に対しなかなかピンとこないところを本人から生の声で聴けたことで理解が深まった」と述べ、吉澤ガバナー補佐は「新しい時代に合ったLGBTQ+の知識を取り入れ多様性・公平性を含めたかたちの新しい事業への展開ができればうれしい」と語りました。今後LGBTQ+当事者は社会の常識がこうあるべきと決めつけられることで自信を無くしたり、のびのびできないことがあるので、それぞれが自信をもって答えられるような習慣が学校・職場・社会全般の中で生まれたら多様性・公平性がより進化することでしょう。今まさに世界の中で日本の遅れた一面を今回のインターシティーミーティングで投げかけた思いです。





2023年2月5日（日）栃木グランドホテルにて、第6グループのインターシティミーティング（IM）が開催されました。新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの開催となりました。

第1部では、大木ガバナー補佐、川嶋パストガバナーのご挨拶のあと、5クラブと蔵の街とちぎローターアクトクラブの会長様より活動報告がありました。各クラブ共に、コロナ禍の中、工夫されて活動されている様子がわかりました。その後は、春風亭柳橋さんの、軽妙で楽しい落語を1時間皆さんで楽しみました。

第2部の、懇親会はGSEメンバーだった荒井庸子トリオの皆さんの演奏でスタートしました。乾杯はG.ヴェルディの「乾杯の歌」に合わせて声高らかに行われました。皆さん、久しぶりの交友を温めながら、あちこちで楽しい声が上がリ、あっという間に予定の時間が経ってしまいました。

3年ぶりとなったIMは、第6グループのメンバーの皆さまに友好を確認するたいへん楽しい機会となりました。



22-23 年度 地区内主要行事

月	日	曜日	行 事	場 所	担 当
3	5	日	第4グループIM	フォーシーズン静風	第4グループ
3	19	日	23-24会長エレクト研修セミナー（PETS）	葛生あくとプラザ	ホスト:葛生RC
3	19	日	23-24幹事エレクト研修セミナー（SETS）	葛生あくとプラザ	ホスト:葛生RC
3	26	日	第7グループIM	ニューサンピア	第7グループ
4	9	日	米山新奨学生・カウンセラー対象オリエンテーション	ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会委員会
4	14	金	第25回親善野球大会 前々夜祭（予定）	調整中	ホスト：鹿沼RC
4	16	日	第25回親善野球大会（予定）	鹿沼運動公園野球場	ホスト：鹿沼RC
4	16	日	23-24年度派遣学生 オリエンテーション	ホテルニューイタヤ	地区青少年交換委員会
4	23	日	地区クラブ活性化セミナー ～会員規定を理解し変化に対応する～セミナー～	ベルヴィ宇都宮	
5	14	日	23-24地区研修・協議会	佐野日大高校	ホスト：田沼RC
5	14	日	23-24年度第5回ガバナー補佐研修	佐野日大高校	
5	20	土	宇都宮陽東ロータリークラブ創立30周年記念式典・祝賀会	ベルヴィ宇都宮	宇都宮陽東RC
5	28	日	第2グループIM	南平台温泉ホテル	第2グループ
5	28	日	馬頭小川ロータリークラブ創立50周年記念式典及び祝賀会	南平台温泉ホテル	馬頭小川IRC
6	4	日	22-23青少年交換最終オリエンテーション	ホテルニューイタヤ	地区青少年交換委員会
6	8or15	木	23-24年度第6回ガバナー補佐研修		
6	11	日	高校生RYLAセミナー		地区RYLA委員会
6	18	日	米山 第1回地区米山委員会・奨学生卓話研修会	ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会委員会

06 会員数報告

国際ロータリー第2550地区1月会員増強・出席報告

分 区	クラブ名	例回数	会 員 数								40歳未 満
			7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性	
第1 グル ープ	大田原	3	24	23	0	0	0	1	-1	1	0
	黒磯	3	33	35	0	0	2	0	2	3	0
	西那須野	4	47	48	0	0	2	1	1	3	0
	黒羽	3	7	7	0	0	0	0	0	0	0
	大田原中央	2	24	22	0	0	0	2	-2	1	2
第2 グル ープ	烏山	3	15	15	0	0	0	0	0	2	0
	氏家	3	23	23	0	0	0	0	0	2	0
	矢板	4	10	9	0	0	0	1	-1	1	0
	馬頭小川	2	21	18	0	0	0	3	-3	0	0
	高根沢	2	14	14	0	0	0	0	0	0	0
第3 グル ープ A	宇都宮	3	105	102	0	2	4	7	-3	3	1
	宇都宮西	3	68	66	0	1	2	4	-2	0	2
	宇都宮北	3	41	44	0	0	3	0	3	0	1
	宇都宮90	3	45	43	0	1	0	2	-2	5	2
	(宇都宮90結・衛)	2	4	4	0	0	0	0	0	3	2
	宇都宮陽北	4	46	48	2	1	3	1	2	9	9
第3 グル ープ B	宇都宮東	4	113	110	1	0	2	5	-3	0	3
	宇都宮南	3	57	54	0	1	0	3	-3	7	1
	宇都宮陽東	3	49	49	0	0	0	0	0	9	1
	宇都宮陽南	4	23	23	0	0	1	1	0	7	4
	宇都宮さつき	3	26	26	0	0	0	0	0	4	2
第4 グル ープ	真岡	3	54	52	0	0	0	2	-2	0	0
	益子	3	31	31	0	0	0	0	0	2	0
	真岡西	3	39	39	0	0	0	0	0	5	0
	下野上三川	2	19	19	0	0	0	0	0	3	0
第5 グル ープ	小山山	3	22	21	0	0	0	1	-1	1	0
	小山南	4	14	16	1	0	2	0	2	2	0
	小山東	3	22	22	0	0	0	0	0	0	0
	小山北	3	23	22	1	0	1	2	-1	0	4
	小山中央	3	24	24	0	0	0	0	0	2	0
第6 グル ープ	栃木	3	47	48	1	1	2	1	1	5	0
	栃木西	3	34	34	0	0	0	0	0	1	0
	岩舟	2	10	10	0	0	0	0	0	0	0
	壬生	3	17	18	0	0	2	1	1	1	0
	栃木南	4	40	40	0	0	0	0	0	9	1
第7 グル ープ	日光	4	21	21	0	0	0	0	0	4	0
	鹿沼	4	65	65	0	0	0	0	0	2	2
	今市	3	41	42	0	0	3	2	1	1	1
	鹿沼東	3	37	37	1	0	2	2	0	5	0
	鹿沼中央	2	17	17	0	0	0	0	0	2	0
第8 グル ープ	今市きぬ	2	27	29	0	0	2	0	2	0	0
	足利	2	23	23	0	0	0	0	0	1	0
	足利東	3	30	33	0	0	4	1	3	2	0
	足利西	2	11	11	0	0	0	0	0	1	0
	足利わたらせ	3	35	31	0	0	0	4	-4	0	0
第9 グル ープ	佐野	3	55	55	0	0	1	1	0	0	0
	葛生	4	36	36	0	0	0	0	0	0	0
	田沼	3	44	44	0	0	2	2	0	0	0
	佐野東	2	21	22	0	0	1	0	1	2	0
	48RC		1654	1645	7	7	41	50	-9	111	38

07 新入・物故会員

新入会員紹介



いしかわかずしげ

石川和重

宇都宮東

2023年1月24日入会

株式会社石川測機
代表取締役

よろしくお願ひ致します。



こむろともひろ

小室朋博

佐野東

2022年7月27日入会

小室朋博税理士事務所
所長

クラブの活動にはできる限り積極的に参加し会員の皆様と交流していきたいです。

追悼

館野 功 たての いさお

2023年1月30日逝去（享年85歳）

所 属 栃木南ロータリークラブ

<会長・幹事>

幹事 2009-10年度 会長 12-13年度

<委員長>

会報 1999-2000 04-06 07-08年度

広報 01-02 22-23年度

職業分類 03-04年度

ニコニコ 11-12 14-16年度

新世代 13-14年度

<財団>ベネファクターPHF（1回）

<米山>米山功労者マルチプル



追悼

松村 一夫 まつむら かずお

2023年2月11日逝去（享年60歳）

所 属 佐野ロータリークラブ

ロータリー歴 9年

平成27～28年 ロータリー家族委員長

平成30～31年 ロータリー家族委員長

令和1～2年 理事・青少年奉仕委員長

令和3～4年 理事・職業奉仕委員長

令和4～5年 副SAA

米山功労者（マルチプル）Y2



◆◆◆ ご冥福をお祈り致します ◆◆◆



コーディネーター NEWS 2023年3月号 No.1

発行：Region 1, 2 & 3
 ロータリーコーディネーター
 ロータリー公共イメージコーディネーター
 ロータリー財団地域コーディネーター

第1地域 ロータリーコーディネーター 橋岡 久太郎(佐倉中央)

第1地域のロータリーコーディネーター(RC)を拝命いたしております、橋岡 久太郎 (RID2790:千葉県全域:佐倉中央RC)と申します。

地域リーダー(RC・RRFC・RPIC・E/MGA・EPNC)は、皆様方会員がロータリーの目標を支え、各地区内と世界中の地域社会でインパクトをもたらすことができるよう、地区リーダーと協力して会員を支援します。また、ロータリー研究会、ガバナーエレクト研修セミナー(GETS)、地域・ゾーンの研修セミナー、地区研修、その他の行事(情報研修会・IM)等に、ご依頼頂ければ講演や研修者、進行役等を務めます。

特に RC は、既存クラブの支援と強化、および新クラブと衛星クラブの設立を促進することで、ロータリーの戦略計画を推進します。また、地区リーダーと連携して、新クラブと衛星クラブの結成、ロータリープログラムへの参加の促進、会員増強(入会・参加促進)を奨励します。特に DEI をクラブレベルでご理解いただき、浸透させていただくために特化したセミナー等を積極的に推進して参ります。

今回は私の担当させて頂いております第1地域をご紹介します。国内3地域の中でも担当地区数が14地区と最も多く、北海道の2地区から千葉県までと広い範囲になります。そのような地域を心強い3名の補佐(ARC)の方々に其々の担当地区のお手伝いをお願いしております。

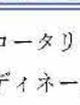
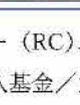
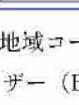
RID2500:北海道西部・RID2510:北海道東部・RID2530:福島は、福井 啓悟 ARC

RID2830:青森・RID2540:秋田・RID2520:岩手宮城・RID2800:山形・RID2560:新潟は、今井 高志 ARC

RID2840:群馬・RID2550:栃木・RID2570:埼玉西北・RID2770:埼玉南東・

RID2790:千葉・RID2820:茨城は、中里 公造 ARC

ロータリーコーディネーター

第1地域	第2地域	第3地域
 橋岡久太郎 佐倉中央ロータリークラブ	 野口 英一 甲府ロータリークラブ	 福井 啓悟 神戸須磨ロータリークラブ
 福井 啓悟 札幌手稲ロータリークラブ	 辻 正敏 ロータリークラブ	 中川 基成 あずがロータリークラブ
 今井 高志 弘前ロータリークラブ	 岩林 英博 東京麹町ロータリークラブ	 庄司 尚史 横浜ロータリークラブ
 中里 公造 川口モーニングロータリークラブ	 桑澤 一郎 茅根ロータリークラブ	 安地 修夫 宗徳ロータリークラブ

ロータリーコーディネーター (RC)、ロータリー財団地域コーディネーター (RRFC)、ロータリー公共イメージコーディネーター (RPIC)、恒久基金/大口寄付アドバイザー (EMGA)、ポリオ根絶コーディネーター (EPNC) は、ロータリー会員の皆様方が必要とするリソースと支援を提供させていただきます。地域リーダーは、国際ロータリー会長エレクトまたはロータリー財団管理委員長エレクトによって任命されます。

私達コーディネーターとアドバイザーを知ってご活用頂き、皆様方のロータリー活動をよりダイナミックで充実したものにして頂ければ幸いです。



【ロータリーと“感動”】



第1地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 田中 久夫（高崎）

最近、「人が生きるために必要なものは？」という問いに出会いました。建築家の安藤忠雄氏からの問い掛けです。

ある人は一言、「それは“お金”である」と言っていました。その昔、小池百合子東京都知事は「それは“希望”である」と宣言して、新党“希望の党”を作り同士を集め国政選挙に打って出ました（結果はあまり芳しいものではありませんでしたが…）。

でも私は、「それは“感動”である」と信じています。

人は皆、何らかの職（しごと）を持ち、それを業（なりわい）として生計を立てています。それが「職業」です。職業ですから、日常の職業従事がマンネリ化してきてもそれを簡単に辞めるわけにはいきません。それを継続するためには、何か「日常」（原因から生み出される結果が容易に予測できるもの）を超える「感動」（原因と結果が容易に結びつかないもの）が必要になってくるはず。職業が楽しいと思えるためには、仕事が達成した暁には予想もつかない感動があることが必要なのです。

例えば、大変困難な仕事に直面しているとき、この苦勞を何のためにするのか？という疑問を持つことがあります。でも、苦勞はそれを乗り越えて成果を得たときに初めて達成感（感動）を覚えるものです。簡単な仕事ではつきません。感動を求めて敢えて無理難題にチャレンジするところに職業従事の快感があるのではないのでしょうか。しかも、その快感はその苦勞に参画する者が多いほど倍加するという論理は明白です。それは、私たちが昔読んでいた少年マンガの成功論理と同じです。少年マンガは、3つの要素が織り込まれれば必ずヒットすると言われています。1つは友情（仲間やライバルの存在）、1つは努力（目標に向けて必死に頑張ること）、1つは勝利（目標の達成）です。まるでロータリーです。

あるクラブを訪問したときのこと、そのクラブが次年度〇周年を迎えるという話題になりました。そのとき、そのクラブの幹部で「準備が大変だから、式典は簡素にしよう」と発言した人がいました。これはもったいない話です。せっかくロータリーによって感動を得ることが出来るのに、自らその機会を失うことになってしまうからです。

ロータリー活動は多くの感動を得ることが出来る、人生にとって貴重な快感体得活動です。ロータリーに入って良かったと思える瞬間をたくさん手にしましょう。先憂後楽、そのためには若干の苦勞はあるかもですがそれでも…。



「変わりながら変わらない価値を創造する」



第2地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 伊藤 靖祐 (江南)

叶えたい未来を共に実現していくことができるのがロータリーです。ロータリーのビジョン声明に「人びとが手を取り合って行動する世界をめざしています」とあるように共に行動し実現できるのがロータリアンです。ビジョン声明の英語原文が「Together,」から始まるのは「共に」ということが強調されている証であり、ロータリー財団では一つひとつのご寄付により共に世界中の地域社会を少しずつ変えていくことができるということです。その結果、ポリオ根絶という歴史をつくるカウントダウンが始まりました。世界の歴史や記憶は新たな挑戦によってのみ更新され次の時代に引き継がれます。すなわち、ロータリーは118年を超えて変わりながら変わらない価値を創造してきたのです。

これからもこの変わらない価値をロータリーは変わりながら高めていく必要があります。佐藤 RI 理事が推進した世界ポリオデーによる公共イメージ向上、ポリオ根絶へのご寄付とファンドレイジングを今後も第二地域ロータリー財団地域コーディネーター補佐としてロータリーの価値の向上にも目を向け進めて行きます。

ロータリーには力があり価値があります。ポリオのない世界という次世代のこどもたちへのギフトを見据えてロータリーの Future Value を最大化することはロータリー財団地域コーディネーター補佐の大きな役割と認識しています。ロータリーの使命・ロータリー財団の使命を実現するためにロータリーの Future Value のつくり方について楽しみながら向き合い、第1・2・3地域で協力の上、さらには恒久基金/大口寄付アドバイザー、ポリオ根絶コーディネーターとともにロータリー財団活動の活性化を図る一助になればと考えています。また、地域社会こそがロータリーのステークホルダーですので、第二地域では9地区の地区財団委員長ともミーティングを実施の上、まだまだ伸びしろがあるボールハリス・ソサエティや遺贈について推進していきます。よろしくお願ひ申し上げます。



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

vol. **275**
2023年2月13日
発行

1. マレーシア米山学友会が次世代教育支援

1月12日、マレーシア米山学友会会長の黄麗容さん(2001-04/横浜泉RC)、会計担当の張美玲さん(1996-98/駒ヶ根RC)がペナン中国女子高等学校を訪れ、2つのパソコンセット(CPU+モニター)と2台のモニターを寄贈しました。

IT専門の学級を持つ同校は、授業に使用しているパソコンの老朽化による性能不足で、授業が成り立たない上に、買い替える予算も足りていない、という問題を抱えていました。その現状を耳にした同学友会は、「社会貢献のための次世代教育」の一環として支援を申し出、買い替えが必要なパソコンの一部を寄贈することで、新たな教育環境整備の助けとなりました。



ペナン中国女子高等学校校長(左)へ寄贈

黄麗容会長は、「私たちが米山に支えていただいたことと同様に、私たちも次の世代のために力になることができました」と、その喜びを伝えてくれました。なお、同学友会は、3月5日に年次総会を開催予定です。

2. 寄付金速報 — 2023年は緩やかにスタート —

前年同期比

+ 5.8%

普 - 1.5% 特 + 9.8%

1月末までの寄付金は前年同期と比べて5.8%増(普通寄付金:1.5%減、特別寄付金:9.8%増)、約5,900万円の増加となりました。単月寄付はやや伸

び悩んだものの、寄付累計額では2016年度以降で最高額のまま、好調に推移しています。ロータリアンの皆さまに厚く御礼申し上げます。例年1月は、普通寄付金(クラブで決定した金額×会員数分をお送りいただく定期寄付)の下期分の納入が主となります。引き続き皆さまのご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

3. 学友マイ・ストーリー第3弾公開

米山記念奨学会では、公式のYouTubeチャンネルにて、当事業に関する動画を順次更新しています。

今回新たに、京都精華大学の前学長で、京都北RC会員でもある米山学友、ウズビ・サコさん

(1992-93/京都北RC)にフォーカスした「学友マイ・ストーリー3」を公開しました。米山奨学生時代のカウンセラーとの思い出や、自身のロータリアンとしての考え、そして現在の活動などについて密着しています。サコさんがインタビューで何を語ったのか、ぜひご覧ください。

引き続きYouTubeを活用し、例会やセミナーなどで、米山奨学事業について皆さまに手軽にお届けできるよう努めてまいります。また、ご希望があれば、動画ファイルをお送りすることも可能です。希望の方は当会の広報担当までご連絡ください。



4. 「心も美化する」チャリティー奉仕リレー第3弾



第3回米山学友による世界大会「再会 in 関東」に向けた、関東10地区学友会による“チャリティー奉仕リレー”。

今回は第3弾として1月17日、国際ロータリー第2820地区米山学友会による募金活動および霞ヶ浦総合公園の清掃活動が開催されました。

当日は6人の米山学友、6人の現役奨学生を含む25人が参加。募金活動では、「貧困に苦しむ日本の子どもたちのための教育支援」を呼び掛け、総額67,000円が集まりました。募金活動後は、土浦市内の霞ヶ浦総合公園にて清掃活動を実施。同学友会の清掃活動は、昨年度に続き、2年連続となりました。

広報担当の崔玉芬さん(2007-08/大洗RC)は、「この活動は、環境を美化するだけでなく、私たちの心も美化される、とても気持ちの良い活動です。この日は米山学友の子どもも参加し、ロータリーの奉仕の精神を次世代に伝える素晴らしい機会になりました」と、奉仕リレーの一日を締めくくりました。

5. オンラインで高校生と異文化交流

東京米山友愛RCと東京米山ロータリーEクラブ2750が合同で主催する、米山学友・奨学生と高校生の国際交流イベントが、1月15日にオンライン開催されました。

このプロジェクトは、米山学友を中心とした多国籍な会員たちが所属する両クラブだからこそ可能な奉仕活動を実現したい、という思いから、両クラブの合同奉仕活動として2013年から始まった、国際理解のためのワークショップです。今回は、都立成瀬高等学校の生徒との2度目の交流となりました。

参加した6人の生徒に対し、講師役に7人の米山学友と青少年交換来日学生、サポート役のロータリアンが加わり、計21人が参加。英語と日本語を交えながら、グループディスカッションをしました。講師たちの雰囲気づくりにより、語学習得の方法など、生徒からの質問は尽きることなく、「国内に居ながら語学学習ができて嬉しい」、「留学という目標に向けて頑張りたい」という感想であふれました。

という感想であふれました。

東京米山ロータリーEクラブ2750奉仕プロジェクト委員長を務めるコイララ・アシュマさん(2008-09/東京井の頭RC)は、「オンライン活動に強みを持つ両クラブの力を活かした異文化交流・異文化理解プロジェクトは、高校生たちとの相互理解が一番の目的で、米山奨学生・学友の協力があつてこそです。言葉の壁や偏見、固定観念を取り除くことは、相互理解を促進し、真のDEIの実現に繋がると確信しています」と、述べました。



海外米山学友会総会のご案内★

タイ 2023年2月25日(土) 18:00～(日本時間) 会場: Royal Thai Naval Institute (オンライン配信検討中) 申込先: warawutjcc@gmail.com

マレーシア 2023年3月5日(日) 14:00～(日本時間) 会場: Shiok Kopitiam Bandar Kinrara (オンライン配信予定) 申込先: yoneyama.malaysia@gmail.com

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
Tel: 03-3434-8681 Fax: 03-3578-8281

E-mail: highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL: http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当: 野津(のづ)・長尾(ながお)

09 クラブ奉仕事業報告



クラブ奉仕事業紹介

蔵の街とちぎローターアクトクラブ 奉仕活動報告



蔵の街とちぎローターアクトクラブ 会長 関谷暢
t-sekiya@hokken.co.jp

当クラブの社会奉仕活動「絵本再生プロジェクト」の報告をさせていただきます。社会人基盤であることを生かし、アクターの所属会社で職員に呼びかけを行い、不要となった絵本や図鑑を回収し、活動地域である栃木市内・壬生町内の幼稚園・保育園・児童館に寄贈するプロジェクトです。

このプロジェクトを起案した背景として、私には絵本が大好きな1歳8か月の子どもがいます。私たち自身が親に読み聞かせてもらっていた絵本を実家から持ち帰り、今私たちが子どもに読み聞かせています。そこで各ご家庭にはまだまだ使える絵本が眠っているのではないかと、思い入れがある分捨てるに捨てられずに困っているのではないかと考えました。

本年1月に始動した奉仕活動ではありますが、私の所属会社である株式会社北研では、職員の皆様に多くの寄付をいただき70冊以上の絵本や図鑑が集まりました。当クラブ全体では約100冊集まりました。また栃木ロータリークラブの若色様からは120冊もの漫画絵本を寄付いただきました。この集まった中古の本ですが、昨今の感染症への対策として除菌が必要であるとクラブ内で意見が出ました。紙にアルコール除菌を行うことはできませんので、日本図書館協会資料保存委員会の提唱する方法を用いて菌の不活化を実施しました。本を24～72時間以上隔離（人の手に触れない状態に）し、隔離前後の本を触る際には手指消毒を徹底し寄贈の準備を行いました。

実際にすでに1件寄贈を実施しており、2月16日に栃木市内の幼稚園へ直接伺い寄贈を行いました。スピード感を持って活動を行うことができプロジェクトが前進していることを嬉しく思っています。今後の寄贈先につきましては壬生町役場（こども未来課）に了承をいただき壬生町内の児童館などに配っていただくこととなりました。栃木市役所（子育て支援課）にもアポイントメントをとり3月中にはご連絡をいただける運びとなりました。また第2550地区第6グループ内に幼稚園を運営されているロータリアンの方がいらっしゃいましたのでご連絡をさせていただき予定です。

そしてこのプロジェクトの意図として一番に「地域社会奉仕」が挙げられますが、その次に「ローターアクト認知度アップのための広報活動」があります。寄贈する本の背表紙には「蔵の街とちぎローターアクトクラブ」と印字したシールを貼り付け、ある種の広報紙の役割も担っています。また中古の絵本だけでなく、クラブ資金から拠出し新品の絵本もあわせて寄贈することで、さらにローターアクトの認知度アップ・イメージアップに繋がっています。2月に寄贈した幼稚園では保護者の皆様あてに、当クラブから絵本を寄贈された旨を伝えるお便りをお配りいただきました。

今後はこの「絵本再生プロジェクト」を当クラブの奉仕活動の軸としていければ良いなと思っています。今回ガバナー月信に寄稿させていただきましたのは、第2550地区のロータリアンの皆様にまずはこの活動を知っていただきたいという思いからです。賛同いただける方には是非ご自身やご子息のご家庭で眠っている絵本や図鑑を探していただけませんか。また、会社にて職員の皆様へ不要となった絵本や図鑑の回収の呼びかけをいただけたら幸いです。



保護者の皆様に送られたお便り

令和5年2月22日

保護者各位
〇〇幼稚園
〇〇様に「絵本」を寄附して頂きました。

先日「蔵の街とちぎローターアクトクラブ」（社会奉仕団体）より、当園の幼稚園・保育園に「不要となった絵本や図鑑」を譲渡する活動を行っているという話がありました。

そのクラブの会長である関谷様さんと打合せをする中で、中古の本だけでなく、新品の絵本も併せて頂けるということで、下の写真の絵本を寄附していただきました。

新品の絵本は幼稚園からのリクエストに答えて頂いた物です。大変ありがたく、大切にこども達に読み聞かせてあげたいと思います。



新品絵本



クラブ奉仕事業紹介

宇都宮陽東ロータリークラブ 2022-2023 ベトナム汗かき国際奉仕活動報告

2023年2月9日～2月12日 ベトナム第4回国際奉仕口腔衛生啓蒙活動

佐貫直通ガバナー・渡邊恒彬(団長)・玉野京子(委員長)・小平晴史(副委員長)
野村剛久(前年委員長)・竹澤安輝・南木智子・佐貫千夏(歯科医師)以上8名

2月9日 7時30分 成田空港にメンバーが集合し一致団結してベトナムへ出国いたしました。

到着後 株式会社マニーのお出迎えを受け翌日行う活動準備の為PHUC THUA'N II 小学校へ車で2時間かけて移動。検診場所・講習場所を設置確認後ホテルへチェックインして夕食。翌日は7時に学校へ移動し8時から歯科検診と歯科講話開始。生徒数約180名を低学年・高学年に分けて半数ずつ佐貫ガバナーが検診・佐貫千夏歯科医師が講話を行いました。低学年は中々講話を静かに聞くことが持続できませんでしたが、高学年はしっかりと聞いておりました。

講話時のスクリーン映像にアニメ等取り入れると低学年にも飽きずに受け入れてもらえると感じたので次回の活動に役立たいと思います。歯科検診の方がどうしても時間が掛かりますので講話終了後佐貫千夏先生も検診を行って下さりスムーズに予定どおりの時間で終了することができました。今回の小学校は前回とは別の場所でしたが前回よりも虫歯の生徒が多かったとのことです。ベトナムは今発展途上国で菓子類も豊富にあることと未だ虫歯予防の管理が充分にできていないのが原因のようです。その管理指導は父兄にしてもらえるようにする事が大切であることから今回は父兄にも講話を聞いて頂けるようにと渡邊団長が学校関係者にお話しして段取りして下さいました。この国際奉仕活動は継続して行い経過観察していくことが重要だと思います。



検診終了後 学校関係者や通訳をして下さった株式会社マニー関係者を含め総勢26名で昼食会を開き互いの親睦を深めました。皆さん明るく気さくな方ばかりで楽しい一時を過ごしました。その後 佐貫ガバナー、渡邊団長、小平次期委員長はベトナムハノイのバスターガバナーとの面会交流に向かいました。私と残りのメンバーは株式会社マニーの工場見学をさせて頂きました。工場見学でベトナムの雇用状況や働き方の違いなど経営者としてとても参考になる情報を得ることができました。面会交流班もハノイロータリークラブとの関係に大きな進展を遂げられ貴重な一日となりました。ハードなスケジュールでしたがかなり実のあるベトナム国際奉仕活動であったと自負しております。

今回大変お世話になりました株式会社マニーの関係者各位に心からお礼申し上げます。 国際奉仕委員長 玉野 京子





写真撮影が趣味の佐貫ガバナー
季節に合わせた
栃木の美しい風景をご紹介します。



3月の風景 *Naomichi Sanuki*

